

仕事のやりがい、難しさをおもて「技能実習制度」

タイトル:

会社名: 青木工業

氏名: ラマ・ドジヤ

出身国: ネパール

皆さんこんにちは。私の名前はラマ・ドジヤ
ヤです。東京の武蔵野市にある青木工業とい
う会社で働いています。今日は「私の仕事の
やりがいや難しさをおもて」また、日本の
技能実習制度について考えることをテーマ
にスピーチをさせていただきます。

私の現在の仕事は、防水工事の施工業務で
す。ビルやマンションなどの建物を雨漏りな
どの水害から守る仕事をしています。

私が防水の仕事を選んだ理由は、建物という
人々の生活を支える基盤を守る仕事に魅力が
感じたからです。雨漏りは建物の劣化早め住
人の生活を脅かす深刻な問題です。その問題
を解決し、人々の生活を快適にするという使
命感をもって日々仕事に取り組んでいます。

この建築業という仕事は、体力的にもガ
リきつり場面があります。特に私たちの防水
工事という業種は、夏は炎天下の中仕事をす
るため、体感温度は50度を優に超えます。建
築業の中でもトップクラスにきつりといえる

タイトル: 仕事のやりがい、難しさ、おもしろさを「技能実習制度」で

会社名: 青木工業

氏名: マ ビジャヤ

出身国: ネパル

でしょう。また、使用する材料は常に重く数量も多く使うため、場重はかなりのタフさが求められます。このような過酷な環境の中で、繊細な技術が求められることとても大変なことです。また第三者などへの注意や自身自身の怪我等と慎重に仕事をしなければなりません。

しかし、大変な半面、やりがいを感じる場面も多くあります。この仕事を始めて一年半がたつたころ、とても印象に残る出来事がありました。ある現場の防水工事を終えたとき、施主の方から声をかけられました。「これで安心して暮らせます。本当にありがとうございます。」感謝の言葉を頂いたのでした。その言葉を聞いたとき、自分の仕事が誰かの役に立ったのだと強く実感し、これがやりがいなんだと感じました。私はこの仕事を通じ、様々な経験を得ることができました。日本語の上達はもちろん、工事に関する知識や技術をたくさん得ることができました。

タイトル: 仕事のやりがいと夢はふくらませる技能実習制度

会社名: 青木工業

氏名: ラマ ビジャカ

出身国: ネパール

さて、冒頭にもお伝えしましたが、私は日本に来て2年半が経過しました。ここからは私が実際に技能実習生として働いてみて感じたことをお話ししようと思います。

まず日本の技能実習制度の問題としては、^{でいぶん ざん}低賃金や残業代の未払い、長時間労働の強制、様々なハラスメント、実習生の失踪など多くの問題があります。これらの原因としては、仲介業者の介入による実習生自身の多額の借金、職業選択の自由の制限、受け入れ企業側と実習生側のコミュニケーション不足などが挙げられます。

そして特に私が思っていることは、特定技能制度にっしてです。3年目の時点で技能実習生から特定技能に移行する際の試験が、少し不親切のように感じます。現状は日本語の試験が基本ですが、母国語での受験が可能になればよいと思います。

もう一つの意見として、技能実習生や特定技能生は、同期の日本人と比べて仕事のレベ

タイトル: 仕事のやりがいが難しいおもしろい技能実習制度

会社名: 青木工業

氏名: ラマ ドンジャヤ

出身国: ネパール

ルが低いという点です。もちろん言葉の壁があり習得に時間がかかるのかと思いますが、例えば勉強会や技能講習などの機会がたくさんあれば、レベルアップのチャンスになります。日本の制度と企業が協力し合い、こういった機会を増やせば技能実習生の仕事のレベルも上がり、職場環境もより良くなると思います。

現在の日本は円安となり、諸外国と比べるととても生活しにくい環境となっています。これは技能実習生にとっては特に死活問題であり、とても苦しい状況といえます。しかしこういった厳しい状況下でも「日本で働くことの価値」を高めるような革新的な制度設計を図れば、日本全体の活性化になるのではないかと私は考えます。私が考えている問題が解決され、より良いシステムが生まれることに期待し、これから日本での仕事を頑張りたいと思います。

以上、ご清聴ありがとうございました。